

精神看護 第20巻 総目次

2017年 1号(=1月号)、2号(=3月号)、3号(=5月号)、4号(=7月号)、5号(=9月号)、6号(=11月号)
表示は、「題名：著者，号数，開始ページ。」

特集

[1月号]自殺発生→これが対応心得だ

すぐに動くための8つの心得：中村創，1，4.

グリーンケアとしてのエンゼルメイクをトレーニングする
@紀の川病院：加藤博之，1，14.

関連研究：精神科入院患者の自殺に遭遇した看護者への支援をめぐる師長の認識：外間直樹・鈴木啓子，1，22.

[3月号]iPadだけで日々の業務が完了できる。訪問看護ステーションみりの記録と電子カルテシステムがすごい

精神科訪問看護に同行しました。——iPadと共に訪問看護。
その1日の流れを見せてもらいましょう。：小瀬古伸幸，2，92.

私自身が感じる「みりの記録にストレスが少ない理由」：
辻本真由美，2，97.

記録システムの構造と運用について説明します：小瀬古伸幸，2，100.

オンラインストレージサービス(Google Drive、One Drive)とクラウドサービス(kintone)を利用した書類管理、情報共有：木下将太郎，2，120.

統括管理責任者が解説します——新しい電子カルテシステムで実現したい「みりの訪問看護」：進あすか，2，129.

[5月号]打つ手なしの行きづまり事例が、当事者研究で変化する

実践報告1——アナザーワールドを大切にすればリアルワールドでやっていける——医療観察法病棟で当事者研究をしてみたらおもしろいことが起きました：高橋昇・石川真・中嶋正人，3，203.

実践報告2——「悩み」から「研究テーマ」へ。仲間と研究すればなんとかなる！——幻覚・妄想を“聞く”という行為が、病状やQOLに悪影響を及ぼすことはない：澤口篤・今川菜美子，3，208.

実践報告3——支援者モードが薄まり、病気を共に乗り越える協力者の関係へ——ストーリーに意味が見出せれば対応できる、という楽観が生まれた：星川亜未，3，214.

実践報告4——私はいかにして当事者研究に伝染したか——自験例に一体何が起きたのか：今村達弥，3，222.

実践報告5——ゆるくつながりつつ、安心して弱さを出せる器(場)が育った——鎧が解ける快感で、みんなが元気になってしまいました：三好裕子・桑田淳一，3，228.

あらためて当事者研究とは。そして病院に導入し、実践するには。：向谷地生良，3，236.

[7月号]“精神看護”という、一見外側からは見えにくい学問を、学生にどうやって教えるか。

アクティブラーニングに向けた私の授業の工夫：安保寛明，4，316.

私が授業で使っている教材とその理由を紹介——要は「いろいろ」。あらゆるものから着想は得られます。：近田真美子，4，321.

金沢医科大学の実習の工夫——プロセスレコードとコンコーディングに焦点を当てて：田中浩二・長谷川雅美・長山豊，4，326.

精神看護専門看護師実習をACTで。この実習は自分にどう影響したか：山本智之，4，334.

[9月号-1]増え続ける身体拘束に歯止めを！——松沢病院はこうに取り組みました：中田信枝，5，408.

[9月号-2]スプーン介助を変えれば、食べる力は復活する：佐藤良枝，5，430.

[11月号]精神科ならではのファーストエイド(応急処置)と、とっさの声かけPart2：三上剛人，中村創

[対談]イントロダクション：精神科におけるファーストエイドの確立を目指して／①燃える布団にくるまりながら寝ていた／②幻聴による命令で、腕をバーナー型ライターで焼いた／③熱い飲料を入れたペットボトルを持ち続け、手指を熱傷／④悪性症候群による痙攣／⑤浴槽内で意識消失。水中に沈んでいるところを発見／⑥ナイフで腹部を切って、自殺企図／⑦パニック発作で手首を自傷。収まった後の自殺企図／解説：自殺未遂患者との対話／自殺未遂患者との対話／⑧薬のヒートで誤飲した／⑨部分入れ歯を誤飲。咽頭に刺さっている／⑩肺血栓塞栓症／解説：悪性症候群を防ぐには，6，496.

特別記事

経験者だから伝えられる——病院への電子カルテ導入のコツ：引地竹識，2，134.

アディクション・ライブラリーを企画——アディクションについて「語る本」の図書館／「読者」になった私が経験したこと：實田穂・松本佳子，2，146.

薬物にまつわる経験を通して学んだこと——回復を伝えられる自分であり続けるために：米本亮，2，154.

クライシスプランの作成法と活用法——地域生活を支援する新たなアプローチとして：金子歩，3，291.

サマリー革命。——搬送時のサマリーは2段階で送ろう！：中村創，4，337.

『精神科ナースになったわけ』を描いたわけ：水谷緑，4，362.

認知症の「見立て」能力を育成するための協調学習会を開催：石川翔吾・上野秀樹・竹林洋一，5，452.

●スタッフの意欲を向上させ、離職を防止するためにうちではこんなことをしています

離職防止につながった「ナラティブ研修」：小原幸子，1，37.

スタッフの強みを活かし、モチベーションを向上させつつ、OJTを活性化：西尾美保，1，41.

●あこがれの福祉商品

思わず買いたくなる！福祉商品をプロデュース&販売スイモン中嶋梨沙さん：水谷緑，3，252.

新潟県の福祉商品ショップ「スイモン」で扱っている“かわいい”福祉商品を紹介！：編集部・中嶋梨沙，3，258.

ペブロウの対人関係論を、臨床の実践に落とし込んで理解しよう，小林信，6，552.

焦点

新たな対話論のためのメモランダム：大澤聡，1，56.

実践報告

「ストレングス・マッピングシート」を用いて話を聞いて——“希望”に立ち返って考えるということ：山原隆美・柳井亮太，3，272.

精神疾患患者の終末期をケアするにあたり、私たちはどのように「家族」とかわりをもつようになっています：久保田誠二・富川順子，3，277.

ハンチントン病をかかえた患者の可能性に寄り添う：阿部悦子・植本真由美・谷本佳子・秋庭順子・和氣洋介・三原淳子，3，282。

取材レポート

オーストラリアでハームリダクションを学ぶ(前編)——分断ではなく包摂を：大嶋栄子，1，65。
オーストラリアでハームリダクションを学ぶ(後編)——厳罰主義をやめた理由。そして重複障害を重視する視点。：大嶋栄子，2，160。
イギリスで活躍中。当事者であることの専門性を生かして研究へアドバイスをするグループ「SUGAR」：大西香代子，2，166。
アメリカで進むオープンダイアログ導入の動き(前編)：篠塚友香子，2，170。
アメリカで進むオープンダイアログ導入の動き(後編)：篠塚友香子，3，286。

投稿

松木さんとリカバリー——2年半の訪問看護で利用者さんから教えていただいたこと：小川真紀子，1，53。

研究

精神科デイケア利用者の突然死に対する他の利用者の受け止め方——利用者とスタッフで催した追悼会の試み：藤井洋子・長井麻希江・杉山由香里，2，178。

レポート

マインドフルネスとスキーマ療法をはじめたい人のための1日じっくりワークショップに参加しました：のまり，2，144。
石川県の七尾松原病院で、「ピアサポート事業」に協力中の当事者に話を聞きました：長井麻希江・木谷昌平，4，368。

特別企画

今はこうする。看護技術：中島篤正・中田信枝，1，26。
いま話題の「発達障害やトラウマの見方」に指針を与えてくれる精神科の本が2冊出ました。：滝川一廣・青木省三，4，350。

レクチャー

「睡眠障害」「睡眠薬」に対する考え方と、知っておきたいこと：三浦貴裕，6，542。

連載

●**べてる新聞『ばびぶべぼ』**／浦河べてるの家
(113)：1，86。
(114)：2，196。
(115)：3，310。
(116)：4，396。
●**失恋話を聞きまくる男たち。桃山商事**／清田隆之
(16)“尊厳の回復”をかけた戦いの記録——彼女はなぜ慰謝料の請求に踏み切ったのか？：1，82。
(17)LINEで見てしまった“裏の顔”——男たちを支配する「ホモソーシャル」とは：2，192。
(18)彼の自己開示は本物だったのか？——「doing」としての自分と「being」としての自分：3，306。
(19)“失恋直後”の人にはどう接すればよいのか——分析も共感も応援もためらう困惑の時間：4，392。
(20)私は欲望に忠実にしか生きられない——33歳・美穂さんのセックスライフと離婚劇：5，476。
(21)失恋話を聞きまくった結果、仕事や人生観まで変わりましたというお話：6，580。

●イネ！その業務改善

(7)喉頭鏡とマギール鉗子を使用した異物除去トレーニング：坂本幸廣，1，32。
(8)看護師長が病棟スタッフから評価を受けて：小野悟，3，248。
●**愛か不安か**／春日武彦
(9)「パターン」という武器：2，182。
●**武井麻子のOh!それみ〜よ**／武井麻子
(9)「しらんぷり」：1，74。
(10)「心病む母が遺してくれたもの——精神科医の回復への道のり」「もうひとつの「心病む母が遺してくれたもの」——家族の再生の物語」：2，186。
(11)「科学者が脳と心をつなぐとき 父と母と私が織りなす50年の物語」：3，301。
(12)映画『おおくりの作法』：4，386。
(13)「病気じゃないからほっといて そんな人に治療を受け入れてもらうための新技法LEAP」：5，470。
(14)ドキュメンタリー映画『ちづる』：6，574。
●**ケアする人こそやってみよう当事者研究**
(3)「チョコレートとのつき合い方」の研究：齋藤優紀，3，242。
●**〜吉。**
(6)カー吉。：山田斉人，5，448。
(7)ラー吉。：木下将太郎，6，539。

●訪問看護で出会う“横綱”級ケースにくじけないための技と型、教えます

／小瀬古伸幸
(1)事例：リストカットがやめられない：3，265。
(2)要求をエスカレートさせていく人：4，374。
(3)連続飲酒のループから抜け出せない：5，462。
(4)思いや言葉を出しにくい利用者：6，566。

●ふしぎの国のデイケア

／東畑開人
(1)「いる」と「する」——デイケアでただ座って「いる」：5，458。
(2)専門家と素人——博士のデイケア送迎学：6，562。

●当事者研究のスキルバンク

／浦河べてるの家
(1)自分を実況中継する！(＋感謝する、人の輪に入る)：5，480。
(2)自分の苦労反転法：6，584。

●精神看護専門看護師って何する人ぞ？

(1)「フリーランス看護師」という働き方：村本好孝，6，530。
(2)「教育」のやりがいに目覚める：桐山啓一郎，6，535。

書論

もしもSMAPのマネージャーが伊藤絵美の『ケアする人も楽になるマインドフルネス&スキーマ療法』を読んだら：東畑開人，1，70。
時空を超える本：西川勝，3，297。
中動態の歌：伊藤亜紗，4，382。

書評

『子どものための精神医学』：畑中麻紀，5，468。
『こころの病を診るということ 私の伝えたい精神科診療の基本』：村本好孝，5，482。
『あらゆる状況に対応できる シンプル身体介助術[DVD・Web動画付]』：湯川カナ，5，483。

読者投稿コーナーここ掘れかんかん！

「知ろうとする」ことの大切さ：成嶋のり子，1，50。

ニュース

「質問促進パンフレット」精神科外来での共同意思決定支援ツールが発行される：1，64。
日精看ランチョンで医療安全に寄与する最新医療機器を知る：1，80。
日精看が、2018年度「精神科認定看護師」教育課程の受講生を募集中：5，484。